

公開講座：日本・アフリカ・世界の今

～現場で人びとと共に汗をかくこと、アドボカシーをすること

NGO で働き目指す社会・世界とは～JVC スーダン現地代表と南ア担当が語る

日時：2013年10月15日（火）5限 16:00～17:30 場所：東京外国語大学研究講義棟113教室（参加自由）



これまで「G8 サミット唯一のアジアの国」、あるいは「米国に次ぐ国連への最大拠出国」「援助大国」として自他ともに認識し/されてきた日本。一方で、「貧困と問題の大陸」として考えられてきたアフリカ。しかし、21 世紀に入り世界構造は激変し、それぞれと世界の関係、そして日本とアフリカの関係も急速に変わりつつあります。

「地球最後のフロンティア」として脚光を浴びるアフリカで、今何が起きているのか？日本の私たちとの関わりはどのようなものなのか？人びとの暮らしの場で、あるいはアドボカシーの最前線で、アフリカ社会の移り変わりとは日本援助（ODA）の課題に接してきた NGO（日本国際ボランティアセンター/JVC）のお二人をお招きし、お話を聞きます。

日本の私たちに来ること（すべきでないこと）を、参加者と共に考えます。

また、お二人ともに、企業や政府機関で働いた後、NGO で働かれています。「キャリアアパス」についてもお話し頂ける予定です。他大、市民の皆さんもどうぞご参加下さい。

今井高樹さん（JVC スーダン現地代表）

大学卒業後、民間企業で十数年間の会社員生活を送る。その間、ODA 改革に取り組むアドボカシー NGO に参加、またボランティアとして JVC の活動に関わる。2004 年に退職後、2005 年からアメリカ、ワシントン DC の公立小学校にインターンとして勤務。その後、2007 年より JVC 職員となりスーダン現地代表としてスーダン南部（現在の南スーダン共和国）に着任。2010 年より事業地をスーダン（北部）の南コルドファン州に移すが、2011 年の紛争勃発により緊急退避。

渡辺直子さん（JVC 南アフリカ事業担当）

大学卒業後、海外でのボランティア活動、イギリスの環境保護 NGO スタッフ、大学院を経て 2005 年から JVC 南アフリカ事業担当。2009 年度から HIV/エイズプロジェクトマネージャー、2010 年 4 月より南アフリカ現地代表、2012 年度より再び現職。モザンビークにおける日本の ODA 事業「プロサバンナ」のアドボカシー活動に関わる。

